

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期八代市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県八代市

### 3 地域再生計画の区域

熊本県八代市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1955年の164,725人をピークに減少し、1975～1980年にかけて一度増加に転じたが、その後は継続的に減少し、住民基本台帳によると2026年1月には118,743人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が86,864人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1995年の24,496人（総人口に対する割合17.05%）から2020年には14,679人（同11.93%）に減少している。一方で、老年人口（65歳以上）は1995年の26,675人（同18.56%）から2020年には42,131人（同34.23%）に増加しており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も減少傾向にあり、1995年の92,388人（同64.29%）から2020年には65,046人（同52.85%）となっている。

自然動態をみると、出生数は1995年には1,378人であったが、2015年から継続して1,000人を下回り、2023年には699人に減少している。その一方で死亡数は1995年の1,196人から2023年には2,019人に増加しており、▲1,350人の自然減となっている。

社会動態をみると、農業の研修などを目的とした外国人の転入者が増加していることもあり、2023年は社会増463人となった。一方で転出者については、近年増加傾向にあり、2023年には4,367人で、特に、20～24歳の若者世代が多くを占

めている。

高齢化を伴う人口減少は、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、地域経済の規模を縮小させるだけでなく、社会生活サービスの低下による地域の居住魅力の低下を招き、さらなる人口減少を引き起こすといった悪循環に陥ることが懸念される。

これらの課題に対応するため、出生数が増える環境づくりや若い世代の転出を抑える取組とあわせ、雇用の創出や安心して暮らし続けられる地域づくりを進め、人口減少に歯止めをかけていく。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 市民から見える、市民の声を聞く信頼されるまちづくり
- ・基本目標 2 地の利・人の利を活かしたまちづくり
- ・基本目標 3 市民格を高める文化薫るまちづくり
- ・基本目標 4 災害からの復旧・復興まちづくり
- ・基本目標 5 産み・育て・学べてよかったまちづくり
- ・基本目標 6 元気な暮らしと持続可能なまちづくり
- ・基本目標 7 危機に即応できる安全なまちづくり

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市政に意見を伝える環境が整っていると感じる市民の割合	19.2%	32%	基本目標 1
ア	やつしろデジタルマップの満足度	-	4.0以上	基本目標 1
ア	市公式SNS (Facebook・X・LINE・YouTube)	24,516人	30,000人	基本目標 1

	) のフォロワー数などの総数			
ア	証明書発行のオンライン利用率	24.6%	50%	基本目標 1
ア	居住する地域での地域振興が活発に行われていると感じる市民の割合	12.7%	30%	基本目標 1
ア	長期貸付市有施設数 (累計)	2 件	5 件	基本目標 1
イ	農業者総所得額	52.6億円	53.9億円	基本目標 2
イ	新規就農者数	33人	45人	基本目標 2
イ	林業新規就業者数 (累計)	0 人	10人	基本目標 2
イ	水産物漁獲量	154トン	160トン	基本目標 2
イ	ブランド水産物の品目数 (累計)	2 品目	3 品目	基本目標 2
イ	担い手への農地集積率	78.1%	80%	基本目標 2
イ	鳥獣による農林水産物への被害額	98,263千円	68,780千円	基本目標 2
イ	八代市の農林水産物や加工品などのブランド化が進んでいると感じる市民の割合	25.7%	35%	基本目標 2
イ	国内外での商談が成立した農林水産物等の件数	73件	93件	基本目標 2
イ	熊本県産豊表応援店の認定数 (累計)	198件	248件	基本目標 2
イ	新たないぐさの活用に関する用途アイデア提案数 (累計)	0 本	5 本	基本目標 2
イ	ふるさと納税寄附額	3,489,701千円	3,500,000千円	基本目標 2
イ	八代港コンテナ取扱貨物量	19,458TEU	30,000TEU	基本目標 2
イ	クルーズ船寄港数	32回	100回	基本目標 2

イ	くまモンポート八代のイベント回数	14回	30回	基本目標 2
イ	観光入込客数	2,462,486人	3,078,000人	基本目標 2
イ	中心市街地が賑わっていると 感じる市民の割合	8.3%	14%	基本目標 2
イ	中心商店街の歩行者・自転車通行量	5,229人 (R5)	5,500人	基本目標 2
イ	市が認定した「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」に関する創業セミナー等を受講した創業者数	23人	28人	基本目標 2
イ	商工業者への巡回・窓口指導	5,885件	6,000件	基本目標 2
イ	市融資制度利用件数	46件	56件	基本目標 2
イ	新設の立地協定件数（累計）	13件 (R3～6)	16件 (R8～11)	基本目標 2
ウ	文化芸術に触れ、親しむことができる環境が整っていると 感じる市民の割合	26.3%	32%	基本目標 3
ウ	特別展アンケートに満足と回答した人の割合	94%	95%	基本目標 3
ウ	博物館高校生利用者数	180人	540人	基本目標 3
ウ	鏡文化センターホール年間利用者数	16,215人	18,000人	基本目標 3
ウ	旧厚生会館問題の再検証プロセスで作成・使用した「公開対象資料」のうち、実際に市が公開した資料の割合	-	100%	基本目標 3
ウ	歴史文化遺産が保存・活用されていると感じる市民の割合	38.3%	41%	基本目標 3

ウ	民俗伝統芸能伝承館（お祭りであんどん館）の入館者数（累計）	59,681人	152,000人	基本目標 3
ウ	普段から、まちなみや自然などの景観に関心がある市民の割合	-	80%	基本目標 3
ウ	リカレント・デジタル講座を受講して、既存の知識やスキルの向上を実感した者の割合	-	70%	基本目標 3
ウ	図書館貸出冊数	397,570冊	420,000冊	基本目標 3
ウ	スポーツ大会・合宿に伴う宿泊者数	15,202人	18,000人	基本目標 3
エ	坂本町内対象地区住宅等の水災補償付き火災保険や家財保険への加入率	32.5%	40%	基本目標 4
エ	自主防災組織の結成率	87.9%	95%	基本目標 4
エ	坂本町の乗合タクシー路線数	(地域間) 1 路線 (地域内) 9 路線	(地域間) 1 路線 (地域内) 9 路線	基本目標 4
エ	坂本町内における移動販売車による年間を通じた延べ販売日数の維持	416日	420日	基本目標 4
エ	総合防災訓練や住民参加型防災訓練、また自主防災組織による防災訓練の実施数	90回	115回	基本目標 4
オ	子育て環境が整っていると感じる市民の割合	42.2%	55%	基本目標 5
オ	妊娠・出産期における保健サービスが整っていると感じる市	38.6%	55%	基本目標 5

	民の割合			
オ	児童発達支援・放課後等デイサービスのひと月当たりの平均利用日数	4.3日	6.0日	基本目標 5
オ	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合	小：92.7% 中：88.3%	小：93% 中：90%	基本目標 5
オ	授業でICT機器を使用（ほぼ毎日＋週3回以上）使用している児童生徒の割合	小：41.7% 中：69.5%	小：90% 中：90%	基本目標 5
オ	主に家庭で過ごしている不登校児童生徒の割合	42.9%	30%	基本目標 5
オ	地域学校協働活動ボランティア参加者数	7,314人	8,000人	基本目標 5
オ	家庭教育学級を開設している幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の割合	60.8%	70%	基本目標 5
オ	小・中学校施設設備の安全性や快適性が確保されていると感じる児童生徒及び教職員の割合	-	60%	基本目標 5
カ	高齢者への支援が整っていると感じる市民の割合	32.6%	45%	基本目標 6
カ	市内で生活している外国人との関わりが増えてきたと感じる市民の割合	39.6%	45%	基本目標 6
カ	路線バスや乗合タクシーなどの公共交通機関を利用しやすいと感じる市民の割合	17.6%	24%	基本目標 6
カ	バス・乗合タクシーの年間利用	50.8万人	51万人	基本目標 6

	者数			
カ	地域内の輸送資源を活用した取組件数（累計）	1件	3件	基本目標6
カ	大学生等を対象に実施した市内フィールドワーク等の回数（累計）	-	15回	基本目標6
カ	八代市ふるさと納税公式SNS登録者数（累計）	12,265人	75,000人	基本目標6
カ	転入者数	4,507人	5,000人	基本目標6
カ	移住・定住関連の補助金及び支援金の交付件数実績	19件	30件	基本目標6
カ	公害に係る苦情・相談件数	75件	70件	基本目標6
カ	狂犬病予防注射接種率	88%	88%	基本目標6
カ	エコエイトやつしろ（八代市環境センター）における焼却処理量（氷川町除）	31,150トン	29,600トン	基本目標6
カ	環境学習出前講座等開催回数	35回	40回	基本目標6
キ	緊急時における避難体制や市からの情報提供が、以前より充実してきたと感じる市民の割合	50.4%	60%	基本目標7
キ	防災行政情報システムの登録件数（累計）	29,774件	42,000件	基本目標7
キ	総合防災訓練や住民参加型防災訓練、また自主防災組織による防災訓練の実施数（再掲）	90回	115回	基本目標7
キ	市道舗装整備率	89.2%	90%	基本目標7
キ	主要幹線道路の整備率	62.4%	100%	基本目標7
キ	都市計画道路西片西宮線の整	78.4%	100%	基本目標7

	備率			
キ	都市計画道路中央線の整備率	-	55%	基本目標 7
キ	主要幹線道路の整備率（再掲）	62.4%	100%	基本目標 7
キ	都市計画道路西片西宮線の整備率（再掲）	78.4%	100%	基本目標 7
キ	都市計画道路中央線の整備率（再掲）	-	55%	基本目標 7
キ	「八代・天草シーライン構想」の早期実現に向け国・県と連携した取組数	1回	2回	基本目標 7
キ	下水道整備率	87.6%	89%	基本目標 7

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

八代市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 市民から見える、市民の声を聞く信頼されるまちづくりに資する事業
- イ 地の利・人の利を活かしたまちづくりに資する事業
- ウ 市民格を高める文化薫るまちづくりに資する事業
- エ 災害からの復旧・復興まちづくりに資する事業
- オ 産み・育て・学べてよかったまちづくりに資する事業
- カ 元気な暮らしと持続可能なまちづくりに資する事業
- キ 危機に即応できる安全なまちづくりに資する事業

#### ② 事業の内容

- ア 市民から見える、市民の声を聞く信頼されるまちづくりに資する事業

透明性の高い市政運営の推進、市民サービスの向上と行財政改革の推進に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・透明性の高いデジタルでの情報公開の徹底
- ・コンプライアンス体制（公益通報制度等）の構築
- ・DX や AI の活用による生産性向上 等

**イ 地の利・人の利を活かしたまちづくりに資する事業**

稼げる農林水産業の推進、農林水産物等の販路開拓・拡大、人流・物流拠点の整備と活性化、観光資源を活用した賑わいの創出、商業振興による賑わいの創出、地域産業への支援と企業・人材の誘致に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・農林水産業の経営力向上支援
- ・八代港の活用促進
- ・企業・人材の誘致 等

**ウ 市民格を高める文化薫るまちづくりに資する事業**

文化芸術活動の推進、多様な歴史文化遺産の活用、生涯学習推進体制の整備、スポーツ活動の推進に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・地域を育む学びと文化の拠点づくり
- ・良好な景観形成
- ・多様な学習機会の提供 等

**エ 災害からの復旧・復興まちづくりに資する事業**

被災地の復旧・復興、生活・社会基盤の強化に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・被災地のニーズへの迅速な対応
- ・ボランティア団体、地域間の連帯強化
- ・再度災害への対策の検討 等

**オ 産み・育て・学べてよかったまちづくりに資する事業**

結婚・出産・子育て支援の充実、学校教育の充実、地域と連携した学びの支援、教育基盤の整備に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援体制の充実
- ・学びを支える環境づくり
- ・学びを支える基盤の構築 等

**カ 元気な暮らしと持続可能なまちづくりに資する事業**

安心できる地域共生社会の推進、地域に即した公共交通体系の整備、関係人口の創出と移住・定住の促進、環境保全と循環型社会の推進に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・一人暮らしの高齢者の見守り体制の構築
- ・従来型にこだわらない柔軟な公共交通の導入
- ・自然環境と生活環境の保全 等

**キ 危機に即応できる安全なまちづくりに資する事業**

市民と一体となった防災体制の構築、防災・減災のための基盤整備、生活インフラの強化に関する事業

**【具体的な事業】**

- ・市民の災害リスクに関する認識共有の促進
- ・発災を想定した公共施設の整備、改修（避難所、防災トイレ等）
- ・道路環境の整備と維持管理 等

※ なお、詳細は八代未来づくり総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

14,160,000千円（2026年度～2029年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）**

毎年度7月頃、事業の決算見込額や概要、成果等をまとめ、内部評価を行ったうえで、本市公式WEBサイト上で公表し、市民による評価を実施する。市民評価への分析・検証を行い、市民評価を踏まえた予算への反映状況等を本市公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2026年4月1日から2030年3月31日まで

## **6 計画期間**

2026年4月1日から2030年3月31日まで